

医療安全管理室の状況

(1) 年間目標

医師のインシデントレポート提出率が1%から2%に倍増することを目指します。
医療安全研修会の参加者増加を目指します。

(2) 主な取り組み

【医療安全推進会議】

- 1) 点滴台フックに安全カバーを装着した。
- 2) 酸素2股アウトレットを定期点検の対象に加えた。
- 3) 検査・処置・手術説明の同席率を50%台に定着させた。
- 4) 自動輸液ポンプの点検票を改良し、15分後チェックを徹底させた。
- 5) 薬剤アレルギーのセフェム系・ペニシリン系の系統入力を可能にした。
- 6) 食物アレルギー患者の食事をお盆の色を変え認識しやすくした。
- 7) MRI検査におけるインプラント対応製品を調査した。
- 8) インシデントレポートシステムを導入した。

【医療安全対策委員会】

- 1) MRI検査における撮影不可の一覧表を作成した。
- 2) 自動輸液ポンプのチェック表、つりさげ方法の工夫をした。
- 3) 転倒・転落チェック表の見直し。
転倒・転落の分析方法と対策立案の検討。
- 4) 内服薬の配薬忘れ、飲み忘れを減少させるための取り組み。
次年度へ課題として継続。
- 5) 医療安全推進週間に今年度のスローガンを掲げた。
委員でスローガンを出し合い委員会で選定した。
「見たつもり」「やったつもり」「伝えたつもり」つもり積もって医療事故
- 6) 日本医療機能評価機構からの医療安全情報を院内LANに掲示した。
- 7) 抑制帯の状態確認ラウンド、抑制施工中の記録監査。

(3) 活動実績

1) 会議・委員会開催実績

委員会等名	開催実績
医療安全推進会議	12回
医療安全対策委員会	11回

2) 教育研修実績

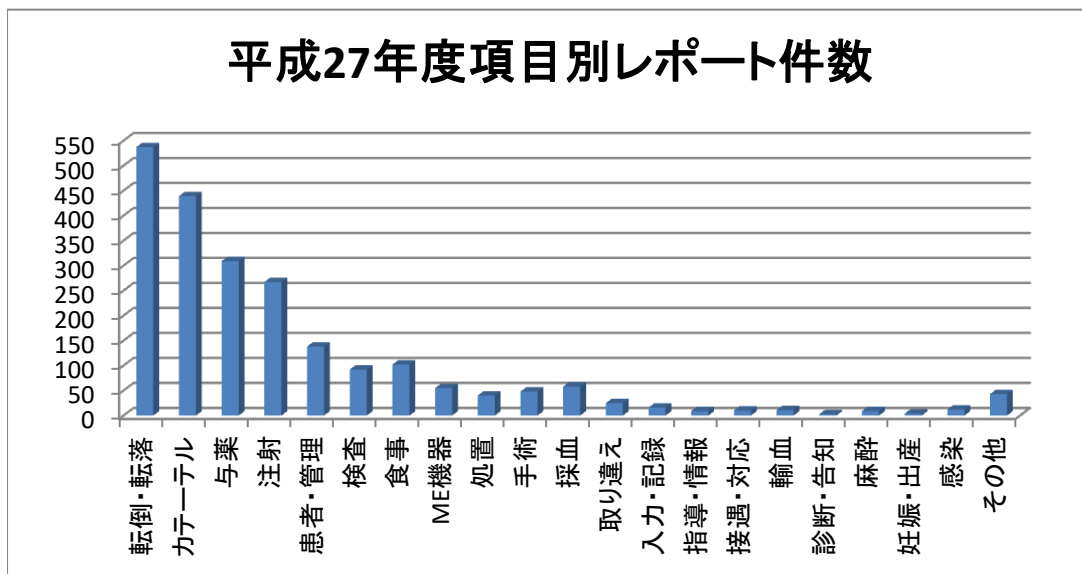
参加人数

	内容	担当者・講演者	対象者	医師	看護師	その他
4月	・新規採用職員研修	医療安全管理者	新規採用職員	14		
	・新規採用看護師研修	医療安全管理者	新規採用看護師		27	
	・研修医医療安全研修会	医療安全管理室長 医療安全管理者	新規研修医	5		
6月	・富山県公的病院医療安全研究大会		全職員			
7月	・「造影剤について」	放射線科森内技師第一三共	全職員	55	367	352
12月	・「5S活動のすすめ」	医療安全管理者	全職員	14	239	129
	・「眠剤について」の作成	医療安全管理室長	全職員	19	200	168
2月	・「肺血栓塞栓予防マニュアル」	医療安全管理室長	全職員	17	192	33
随時	職場復帰・新採用職員研修	医療安全管理者			看護師	11回開催
5-7月	看護部教育研修(レベル別)	医療安全管理者			看護師	5回開催

3) その他

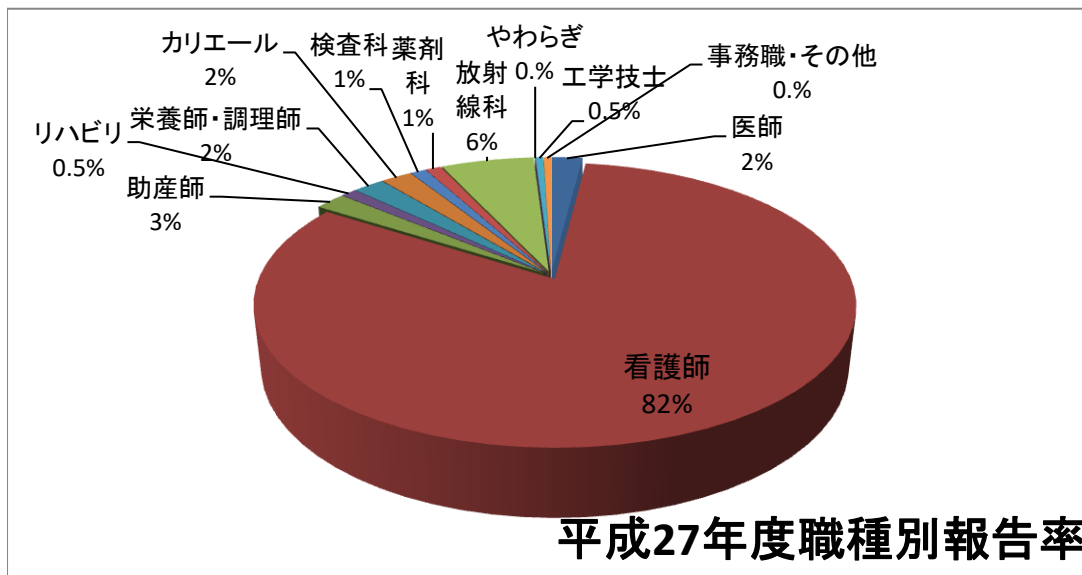
医療の質・安全学会で発表を行った。

4) インシデントレポート報告
 ①項目別報告件数(総計 2227件)



転倒・転落、カテーテル関連、薬剤関連(注射・与薬)の3項目で約60%を占めている。高齢化や認知症などの影響に、入院による環境が変化してきていることも影響している。そのため、個々の患者さんに合わせた医療、看護の提供が必要とされる。提出された報告から分析を行い対策を立案し実践していかなければならない。

②職種別報告件数



看護師／助産師で85%。患者さんとの直接かかわりの中で、危険を意識する機会が多いことから提出率が高い。医師の提出は2%であった。他の職種からの報告を望む。インシデントに対する気づき、感性を高め医療の透明性、質の向上に繋がることを伝えていく必要がある。チーム医療を行っていく中で情報共有を行い、患者さんの安全を守ることを第一に考えていかなければならないと考える。